

日本の竹ファンクラブ通信



中井町で「マダケの筍狩り」再開！

竹で収益を生み経済を回して課題解決

放置竹林が広がり、社会的課題はますます高まっています。竹林再生を継続するには筍の利用や竹林、竹材の活用を進め、収益を確保する仕組みづくりが必須、善意や持ち出しの一方通行では継続が難しくなります。

中井マダケの筍狩り

今年6月マダケの筍狩りが13年ぶりに再開されます。2005年神奈川県「あしがら竹林再生事業」で始まった中井町の竹林再生事業。ファンクラブを主体に都市農村交流事業のモデル例としてスタートしました。最初は中井のマダケ林を知ってもらう目的で2005年6月に初めての「筍狩りイベント」を46名の参加者を迎えて開催しました。最盛期の2008年には「中井たけのこ祭り」に趣向を変え568名（内筍狩り406名）の参加者を迎え盛大に行われました。しかし、2

012年の筍狩りを最後に中断したままです。

岐路に立つ竹林再生

中井の竹林整備は今年で20年になります。しかし今、竹山の整備は分岐点に立たされています。これまで個人や団体の善意に頼る一方通行型の活動が継続されてきました。しかし、参加者の高齢化、団体の経営資源の減少等で自助努力も限界にきています。かつて竹林は筍、竹材で経済を回していました。それが輸入品やプラスチックに代替され経済価値を失い、放置されました。これまで通りの活動を続ける限り経済は回らず固

筍を食べて竹林再生

今回は筍狩りという体験活動での再スタートとなります。今後さらに竹林や竹材の活用を進め、竹で経済を回す仕組みづくりを絶対条件とした活動に転換します。放置竹林の持続的な再生活動の普及に向け、皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

12月も竹灯籠の処理作業は続き、5日に割り作業は完了し、割った灯籠を土嚢袋に入れA地区に集結する作業も14日午前中に完了しました。処理作業が予定より早く進んだため、14日午後と、21日に北奥散策路の竹穂垣の改修を行いました。垣根の改修作業が初めて、また経験の少ない会員等、和気あいあいと教えあひながら両日で8スパンが完成しました。



1月13日と25日は同じく北奥散策路の四ツ目垣の改修を行いました。いざ立子の取り付けですが、肝心の男結びが初めての方はもちろん、1年たつたら忘れたという方等いろいろでしたが、ベテランの指導の下なんと1.5日で13スパンの完成となりました。午後はE地区の枯れ竹の伐採行い結果竹林の美観が向上しました。

2024年末から1月はマダケとモウソウチク境界緩衝部で間伐作業となった。ここ国際の竹林では唯一開けたベストの作業環境ポイントだが、その上のモウソウチク間伐は急斜面で手強いです。この日は雑木部から竹林部へとつづく園路の全線、なら枯れを含む種々の老木が枯れて倒れたり予備軍が目立ち、既に通行に支障をきたす事

態も起きていたので作業前に全員で調査マーケティングをしました。場所と本数を指定管理者に報告し、雑木部管理委託業者と伐木を検討してもらおう事にしました。別の活動日にはマダケ部の竹垣を実に7年振りに改修できました。これまで4月開催の「竹灯籠まつり」が昨年からは5月に変更となり、この後は間伐、密度管理、竹灯籠つくりとつづきます。

総合グラウンドに面しているマダケ林の間伐作業も進むにつれ集積処理場よりも離れていく。起伏ある竹林内を10メートルほど引きずり出すのはそこそこの重労働。陽光まぶしいグラウンドからはサッカー大会の子どもたちの歓声がこだまして心地よい。年一度の土曜日開催は梅林に通

北奥散策路の竹穂垣、四ツ目垣、竹林を觀賞いただければ幸いです。担当：荻原三男

横浜国際プール支部

「子どもの国支部」が昨年からは5月に変更となり、この後は間伐、密度管理、竹灯籠つくりとつづきます。担当：根岸秀行

子どもの国支部

総合グラウンドに面しているマダケ林の間伐作業も進むにつれ集積処理場よりも離れていく。起伏ある竹林内を10メートルほど引きずり出すのはそこそこの重労働。陽光まぶしいグラウンドからはサッカー大会の子どもたちの歓声がこだまして心地よい。年一度の土曜日開催は梅林に通



じるマダケ林の間伐、散策路沿いのこの竹林は「子どもの国公式X(エックス)」で「好きな竹林」として定期的にポストされている。今年には小中学生の姉妹が家族で初参加、ノコギリ扱いもなれて太い古竹に挑戦し「達成感があります！」と笑顔。また、生まれ故郷の実家の放置竹林整備の為に初参加の男性は「沢山学びました」。担当：丹治 薫

中井町支部

中井中央公園から望む富士山の姿に一喜一憂しながら中井町半分形での整備作業を行いました。入口セメント

斜路の右側の峡谷や、その奥の整備着手初期のあしがら竹林再生事業広報板付近が荒れていたのを整備、且つメインエリアの枯竹、極細竹等の間伐を実施。今後の課題として、やまゆりライン沿いの整備、無残な姿の四ツ目垣の改修を行いたいと思います。6月は筍狩りの予定です。皆さんの参加をお待ちしています。担当：榮 千彰

竹林管理コース

竹の学校の同期は、10人余り。竹林、筍、竹細工など興味の発端はそれぞれ違うけれど、みんなが楽しそうに竹の話を楽しみます。そんな場は他にどこにもないので、帰り道にはいつも「あー、楽しかった」としみじみ思っています。春の若竹伐採や秋の間伐、竹灯籠祭りの手伝いに参加して、力持ちでも器用でもな

い私でも(皆さんに助けてもらって)何とかなる!と思える経験がたくさんできました。竹垣に使う男結びは、3人の先生たち全員に何度も教わった上、家で自主練でやっと思えるようになりました。あんな冷たい雨の中、最後まで朗らかに教えて下さった先生方の辛抱強さこそが、小機の竹林を守り続ける力の芯の部分じゃないかと感じた体験でした。一年間の学校、本当にありがとうございました。報告：中西令子

竹工房

竹でゲルを作ってみようワークショップ

竹ゲルワークショップに参加しました。写真で見ただけではどんな構造なのかからなかったのですが、小型の模型を見せてもらい広さや高さも開閉の具合で変わるものだとわかりました。竹を切り↓割り↓穴開



報告：吉川さとみ
け↓結び↓組立ての作業を二日に分け楽しく行いました。ステンレスたわしを使ったバリ取りは今までやった事のない作業でツルっとした断面に安心感もありました。竹林の中で組立てたゲルは広く立派で畳み舞うのこともったいなく思いました。竹細工にも興味が湧いてきてるので自分の物になるワークショップにも参加したいです。

報告：下島 荻原 榮
昨年につづき、小机城址Aエリアで部材用の竹を伐り出して開始。壁材と天井材用に竹を割り、面取り、穴開けと順調に進んだ。1週間後に裁縫のごとく、糸はシユロ縄、針は針金に持ち替えて交点に通して結びにコブを作り接合、壁を広げ屋根材を結束して簡易折り畳み式ゲルの完成です。これで直径2.5mと3m併せて5基体制となりイベントやレインタルへでの出番が待たれます。

TAKEFAN NEWS

第18回 横浜国際プール 林浴の庭

「竹灯籠まつり」に 参加しましょう！

本年も横浜国際プールで「竹灯籠まつり」を開催します。準備も含め作業日数が非常に多くなっています。出来るだけ多くの方が参加して下さいようお願い致します。

■5月17日(土)
(雨天の場合翌18日に順延)

■準備期間・前日・当日のスタッフ募集中です。
お手伝いいただける方は、Eメール又は同封の申込書に必要事項を記入の上、事務局までお申込み下さい。

定時総会を6月15日(日)に 開催します。

定時総会を下記の通り開催します。
別途案内状を差し上げますのでご出席下さい。

日時 2025年6月15日(日) 13:00~14:00

場所 城郷小机地区センター

内容 総会 主な議題

- ① 2024年度事業報告並びに収支決算・監査報告
- ② 2025年度事業計画並びに収支予算書

活動報告

- 1月7日 中山小学校総合学習(梶間谷・根岸)
- 1月22日 県横須賀三浦地域県政総合センター講演(平石)
- 1月19・26日 竹工房 竹ゲル作り(下島・荻原・榮)
- 2月7日 山田小学校総合学習(政所・松村)
- 2月5日・12日 市環境活動支援センター、小机チップ化支援現地調査とチップ化作業(荻原・山根・榮)

【新入会員紹介(敬称略)】 下線は竹取協力隊入隊者
前田順子(千葉市稲毛区)

令和7年度 会費納入のお願い!

4月は会費更新の月です。

皆さんの会費や寄付が日本の竹ファンクラブの活動を
支えています。継続してクラブの活動をご支援下さい。

会員種別を明記の上お申し込みください。

◆入会金 1,000円

(新規入会の正会員希望の方のみ、継続会員は不要)

◆会費種別

正会員 個人2,000円

(入会して、総会の議決権を持つ個人)

準会員 正会員の家族1,000円、学生1,000円

(入会し、総会の議決権を持たない個人)

賛助会員 個人3,000円、法人以外の団体5,000円

法人30,000円(各一口以上)

(活動を支援するために入会した個人、法人
及び法人以外の団体で、総会の議決権を持
たない)

◆<振込先>郵便振替 00270-0-69084

特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

4月5日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林整備と密度管理 10:00～15:00
4月8日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
4月10日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
4月12日(土) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) たけのこ掘り 10:00～15:00
4月13日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹垣改修と密度管理 10:00～15:00
4月19日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠づくり 10:00～15:00
4月20日(日) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) たけのこ掘り 10:00～12:00
4月22日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00～15:00
4月26日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠づくり 10:00～15:00
4月29日(祝火) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置 10:00～15:00

5月3日(祝土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林間伐と密度管理 10:00～15:00 講義：竹の由来と生態 9:00～12:00 実習：穂先筍収穫と竹水作り 13:00～15:00
5月6日(振休火) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置 10:00～15:00
5月10日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置 10:00～15:00
5月13日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00～15:00
5月16日(金) 協力隊	横浜国際プール まつり前日準備 10:00～15:00
5月17日(土) 協力隊	横浜国際プール(要事前申込み) 第18回竹灯籠まつり 10:00～21:00 (予備日：18日)

5月18日(日) 協力隊	横浜国際プール まつり材片付け 10:00～12:00 (午前中、予備日：19日)
5月24日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠集積 10:00～15:00
5月25日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林間伐と密度管理 10:00～15:00 講義：筍の育成と管理 9:00～12:00 実習：若竹伐採と竹水取水 13:00～15:00
5月27日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00～15:00
5月29日(木) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠処理 10:00～15:00
5月31日(木) 協力隊	中井町 竹林整備 10:00～15:00

6月7日(土) 協力隊	中井町(要事前申込み) マダケの筍狩り 10:00～12:00
6月10日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00～15:00
6月14日(土) 協力隊	中井町(要事前申込み) マダケの筍狩り 10:00～12:00
6月21日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠処理 10:00～15:00
6月22日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林の間伐 10:00～15:00 講義：竹林の管理と育成 9:00～12:00 実習：若竹伐採とお礼肥 13:00～15:00
6月24日(火) 協力隊	こどもの国 竹林整備と密度管理 10:00～15:00
6月28日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐とお礼肥 10:00～15:00
6月29日(日) 協力隊	中井町 竹林整備 10:00～15:00